



一斉地震対応訓練後、
+1訓練として第1避難場所の園庭へと避難

はやおき保育園

保育園では毎月避難訓練を行っておりますが、今回は実際に市役所から流れる訓練音源を全館放送しました。1分半の放送の間は緊張した様子でじっと動かない園児たち、職員共々いつもより緊張感を持った訓練ができました。

(一社)チカク



防災しかけ絵本の読み聞かせと実演



親子でだんごむしのポーズ

9時からの訓練についてラジオの電波が悪く、話している内容がよく聞き取れなかった。

その後の利用者さんとの地震訓練では、絵本の読み聞かせを実演付きで行ったが、場面に応じた対応が説明されていて、とてもわかりやすい絵本だと思った。実際に防災訓練の音声を流すと、怖がって泣き出すお子さんが多かった。実際に災害が起こったときにスタッフも冷静に対処できるように、定期的に行ったほうがよいのではと感じた。今回は0歳さんが大勢いたが、ほかの年齢のお子さんや、いろいろなスタッフが経験しておくのも大事だと思った。防災の意識を高めるよい機会になった。

スタッフでプラスワンをしたとき、災害用伝言ダイヤル(171)について知らない方もいたのでよい機会になった。災害時は電話がつながりにくいこともあるので電話、LINE、メール以外にもスタッフ同士で連絡を取れる方法を増やせたらと思い、使用方法について時間をとった。地震が起きた瞬間、どのように行動したらよいかとてもわかりやすく描かれた絵本だった。倉敷市の訓練音声に合わせて、赤ちゃんを守るだんごむしのポーズを親子でしていただいたが、音声が少々こわかったり、お母さんがいつもと違う動きだったりしたためか、泣かれたり嫌がってうまくお腹におさまらないお子さんもいらっしまった。日頃からおうちの人のお腹に囲い込むような遊びを取り入れると、いざというとき嫌がらないかもしれないと感じた。訓練をやってみていろいろ気づききっかけとなった。

下の町乳児保育園



頭を下げて！

年に2回地震の避難訓練を行っています。今回実際に音源を聞いての避難で、いつもとちがう雰囲気子どもたちも緊張をしながら保育士の指示に従い姿勢を低くして訓練に参加することができました。その後は、実際に園庭に逃げていつもの訓練を行いました。



早く逃げよう！



(医)創和会 健康増進施設 はあもにい 倉敷 ベネッセの英語教室



ベビークラスでは机を使用しないため、机の下に隠れることができません。そのため、普段使用しているマットで頭を守りました。今回の訓練をきっかけに、各教室での安全な場所の確認や、身の守り方を具体的に考えることができました。またプラス1訓練として、棚などの地震対策を確認し、転倒防止対策を進めています。子ども達や保護者の方々に安心して受講いただけるよう、普段からの備えを万全にしていきたいと思います。



子ども英語教室のベビークラス（1歳～3歳の親子）を想定しての訓練



頭を隠すよ！

(福)心和会 柏島認定こども園

(福)育和福祉会 池畝保育園

普段の自分のタイミングで始める訓練と違い、緊急地震速報を聞いてから訓練を始めたので、いつも以上の緊張感がありました。

緊急時の対応のためには今日のような訓練が必要だと感じました。



(福)倉敷福祉会 小谷かなりや小規模保育園

いつもの避難訓練と違い、放送を聞きながら行いました。2歳児は、よく聞いてダンゴムシのポーズをしています。0、1歳児は、保育士のもとに集つめて待ちました。

災害は、いつどこで起こるかわかりません、園児 職員 誰もケガが無いよう。

保育室の点検や日頃の備えを再確認しました。
ありがとうございました。



2歳児 ダンゴムシのポーズ

真備児童館





避難訓練を実施している様子

小谷かなりや認定こども園

子供達は、日々の避難訓練に加えての訓練となりました。

水害火災地震など様々な災害が起こることを伝えて、避難に備えていければと思います。

また、非常食など起きた後の対応など見直すいい機会になりました。

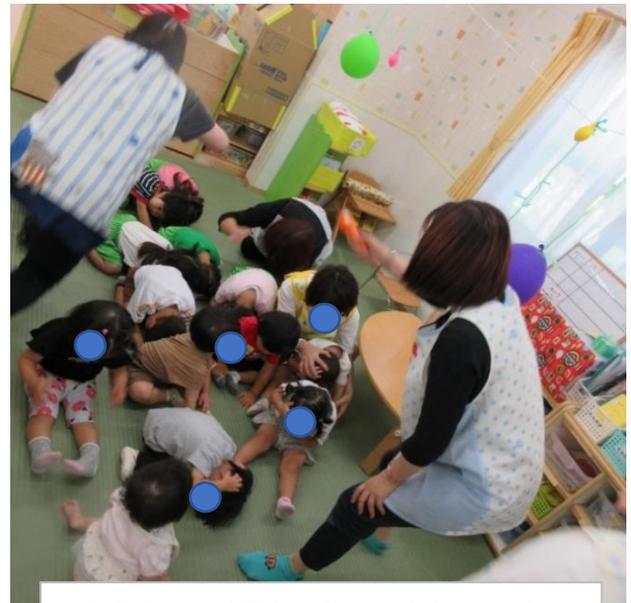
BCP記載内容について、再確認致しました。

このような機会があることで、全体としてできるのでいい試みだと感じました。

真備かなりや小規模保育園

地震の避難訓練は、毎年していましたが、倉敷市一斉ということもあり、いつもの避難訓練とは違った意識で職員が取り組めたことが、よかったです。

プラス1ではいつもの避難場所を室内から外へ一時避難した。また子供たちにもわかりやすくパネルシアターで伝えました。午後からは職員間で備蓄について話し合い、備蓄品や置き場所など話し合いました。



倉敷市一斉地震対応訓練に参加した様子

船穂中学校

先生方も全員机の下に隠れましたが、体が入りきらず大変でした。



緊急避難



倉敷マリア・インマクラダ 幼稚園

園児全員の登園が完了していない時間帯での訓練は、初めての経験となりました。

こくっからのとてもわかりやすい説明があったので、園児達がしっかりと聞いて、落ち着いて参加することができました。+1として、いつも通り園庭に避難し「おはしも」の約束を確認することができ、とても良い避難訓練の機会となりました。



おはしもの約束

菌幼稚園

地震の避難訓練は、今年度一回行っていましたが、今回は実際のラジオ放送を聞いて訓練しました。また、一次避難だけでなく、6年生に手を繋いでもらい、二次避難場所へ避難するプラスワン訓練ができました。

子どもたちは「地震、こわいなあ。」と言っていました。が、「”こわいに備える訓練”だよ。」と伝えました。とても良い機会になりました。



庄中学校

- ・このような訓練が大事だと思った。
- ・真剣に取り組めたのでよかった。
- ・南海トラフが心配だから、また訓練があるといいと思いました。



Let's ひなんくんれん みんなで生き残ろう。



教室での訓練

水島小学校

地域のコミュニティー会議でも広報し、連携して訓練を行うこともできました。

多津美中学校

訓練で実際に行動することで、迷わず安全確保行動が取れるようになってきました。また、防災意識向上に役立ちます。



揺れたら机の下で安全確保

豊洲幼稚園

9月25日に実施しました。
市からいただいた音源を使い、真剣に訓練をしました。+1として、避難後に保護者への引き渡しも行いました。
月に一度、様々な災害の避難訓練をしているため、年長児も年少児も本気で訓練しなければいけないという思いがあり、指示に素早く従うことができ、実りのある訓練となりました。



岡山県立倉敷まきび支援学校





机の下で頭を守って身を隠し、
じっとしている様子

万寿小学校

3つの観点を意識して行動することができた。事前に防災担当が全体指導をし、その後担任からの声掛けを行ったことで児童の意識を高めることができたと思う。

連島東小学校

- ・机の下に入るとき、意外に狭くて入りにくかったので、とにかく頭を守れるようにした。
- ・防災士の方が来てくださり、教えてくれたので分かりやすかった。
- ・緊張感をもってできたのでよかった。
- ・机の下に隠れるとき、慌てて頭をぶつけてしまったから、訓練って大切だなと思った。



第三福田保育園



地震の避難訓練を園全体で行いました。

その後、職員で転倒危険物の確認、消火器の確認、避難経路の確認等、みんなで行いました。

地震の避難訓練は、一年に数回行っています。

倉敷市全体で、行っているんだという感触のもと、行うことで地震への備えは、みんなで行っているという感覚になりました。また、改めて、職員みんなで、転倒危険箇所、消火器設置場所、非常通報ベル、避難経路、非常時の役割分担について、確認し合うことができ、とても良い機会になりました。今度は、近くの小学校や企業などと共同で行えたら良いなと思いました。

託児所さっちゃんち



地震！ の声でテーブル下へ



非常持出品のぬりえ

今回の倉敷市一斉地震対応訓練は事前に子ども達へ知らせずに実施。

保育者の「地震！テーブルの下！」の声に驚いた様子で

「こわいー」と言いながらも自分から頭を隠してテーブルの下へ入った子がいたので、他の子も真似をしてすぐにテーブルの下へ。

置かれた状況が分からず泣いたり立ちすくんだり走ろうとする子もいたが、保育者の誘導により1分以内で全員テーブル下へ入ることができた。（子ども13人大人3人）

しばらくして訓練だということを伝えると「揺れてなかったもんね」と安心した表情になっていた。

訓練後は毎月の避難訓練の時に行っている【ひなんするときのあいことば】を再確認したり、非常持出品を紹介。

持出品をわかりやすくイラストにしたものを色塗りして子ども自身が各家庭へ持ち帰られるようにした。

自分にとって何が重要なものなのかを家族と話し合うよう伝えた。

大きな自然災害を経験したことのない子ども達が、もしもの時に自分の身を守る事の大切さの意味を少しでも理解できるよう、今後も色々な視点から伝えて行きたいと思う。



ぬりえを各自持ち帰り

地域子育て支援センター 真備かなりや

支援センターから、こども園に避難する訓練をしました。

避難時に親子でより安全に逃げられるルートや職員の動きの再確認ができました。

また参加した多くの利用者からは、「今までなかなか避難のイメージができなかったが、今回参加することで準備の大切さえを感じました。」の意見が聞かれました。





子育てひろば「ほっとハウス」

乳幼児の親子で避難訓練をしました。
ハザードマップで自宅の周辺を確認し、防災のお話をしました。
災害時の対応について親子と職員で話すことができるよい機会でした。
年に何回か、このような取り組みをしていきたいと思えます。
緊急告知FMラジオで訓練しようと考えていましたが、放送がなかったので、市のホームページから音声を読みました。
緊急告知FMラジオでも放送されるとよかったです。



葉隠勇進株式会社

地震対応訓練、3事業所35名参加しました。台の下に避難、プラスワンとして大高小学校では備蓄品の確認、茶屋町小学校では各出口から駐車場まで避難、倉敷支援学校では、機械の元栓の場所確認等しました。

地震等の災害時に備えて訓練の必要性日頃から感じていましたが、なかなか実施することができず、今回大変良い機会を頂き感謝しております。頭で考えるのみで、実行できていませんでしたが、いざ、日にちを決めて実施してみると、すんなり訓練実施できたので、防災訓練として、毎年実施していこうと考えています。先ず、動いてみる事の重要性を再認識出来ました。全員で防災に関する意識も高める事ができました、ありがとうございました。



台の下に避難!



ここを切る!

倉敷芸術科学大学



避難完了



郷内中学校

9:00に倉敷市一斉地震対応訓練がありました。市長の「こちらは、倉敷市です。ただ今から倉敷市一斉地震対応訓練を始めます。」が流れ、生徒は驚いたようですが、警報がなると体を低くして、頭を守る行動がとれました。

プラス1訓練として、本校は、この後、運動場に避難しました。

緑丘小学校



ダンゴムシのポーズ



校内放送で振り返り



クイズに挑戦

令和6年9月26日（木）に実施された倉敷市一斉地震対応訓練に、児童・職員（約220名）が参加をした。午前9時に、訓練開始の合図がFMくらしきより行われ、その内容をリアルタイムで、校内に流した。児童・職員は、本当の地震が起きたことを想定して、安全確保行動を行った。「まず低く、頭を守り、動かない」。日頃から、地震の時には、揺れが収まるまでダンゴムシのポーズをとり、身を守る訓練を行っているのので、どの教室でもすみやかに机の下などに入って、安全確保行動を行うことができた。

その後、引き続き、校内放送を使って、地震が起きた時に大切なことについて、クイズなどを交えながら講話を行った。「地震はいつ起きるか予報ができないから、まずは、その場で命を守る行動をとること」、「地震の後には、津波が来ることがあるので、ハザードマップで地域の安全な場所を知っておくこと」、「緑丘小学校が緊急避難場所になっていること」、「日頃から非常食・水・懐中電灯・ラジオなどの防災グッズの準備が大切なこと」、「自然災害は、落ち着いて正しく行動すれば大丈夫」という内容の話を行った。

児童は、自分のこととして話を聞き、いざという時の行動について知ることができた。



校内放送の様子



老松幼稚園

登園後まもない時間に起きた地震でしたが、5歳児は、落ち着いて椅子や机の下に入り、自分の身を守る行動がとれていました。

いつ何時起こるかわからないことを実感できどうしたらよいかを考えるよい訓練になったようです。

船穂保育園

緊急地震速報を流して
訓練開始！

使用音源です。
音量注意！！



部屋の中央に集まったり、
机の下に隠れて安全確保！



揺れが収まったら、園庭へ避難！



毎月の避難訓練のおかげで、今回も素早く避難が出来ました。ただ、地震速報の音にびっくりして泣く子ども数名いました。実際の災害時に動けるよう、今後もしっかり訓練していきたいと思います。

倉敷市自然の家



頭を低くして机の下に避難しているところ

FMくらしきで緊急サイレンが鳴るのを待っていました。

場所柄、FMくらしきは受信しにくく、FM岡山の方がよく聞こえました。

定期的に訓練をしているからこそ、万一のときに自然に体が動くのだと思いますので、

今回はその1つとしてできてよかったと思います。

倉敷支援学校

「頭を低く、動かない」を合言葉に事前指導を行い、当日はそれぞれの児童生徒が真剣に取り組むことができていました。



万寿東小学校

緊急地震速報の音源とともに訓練を行いました。お祭りの準備中の訓練でしたが、さっと机の下に隠れて体の動きを止め、正しい行動がとれました。



祭りの準備中での避難